

第 24 期 第 4 回材料工学委員会議事録

日時：平成 30 年 11 月 1 日（木）13：00～15：00

場所：日本学術会議 5 階 5-A(1)会議室

出席委員：山 口周，片岡一則，乾 晴行，筑本智子*，松宮 徹，五十嵐正晃，大貫惣明，尾崎由紀子*，河村能人，岸田晶夫，小出康夫，須山章子，陶山容子，高梨弘毅，津崎兼彰*，長井 寿，中野裕美，塙隆夫，東 健司，吉田豊信（*スカイプでの出席）

議事

1. 分科会活動について

資料 2－1 について各担当委員長から説明があり，承認された。

2. SDGs についての取り組みについて

本委員会および関連各分科会が SDGs とどう関連するかについてのアンケートが材料工学委員会と各分科会宛てに依頼されており，各委員長が対応することとした。また，材料工学分野として SDGs にどのようにコミットするかについては，次回，中村先生を中心に討議することとした。

3. マスタープラン 2020

材料工学分野からどのような大型施設計画・大規模研究計画を提案できるか討議した。その結果，各委員に計画案のアイデアを募るアンケートを実施することとした。

4. 学会との連携について

河村委員より新材料科学検討分科会が開催した学会の国際化についてのワークショップ（平成 30 年 6 月 6 日開催）の報告がなされた。出席した材料工学関連の 6 学会では，国際連携と学会間連携に関しての重要性が共有できたとの報告があった。

5. 大学院教育の参照基準について

山口委員長より，学部教育に関する参照基準（資料 4）を評価し，大学院教育課程の現状を把握するために関連する専攻にアンケートを行い，学部教育に関する参照基準のアップデート，大学院教育に関する参照基準の作成に繋げたい旨の説明があり，承認された。材料工学将来展開分科会を担当とし，アンケートには全国材料関係教室協議会（全材協）の協力を仰ぐこととした。

6. 次回委員会について

平成 31 年 2 月 1 日を予定するが，旅費等逼迫の状況を見て開催か否かを判断することとした。

配布資料

資料 1. 第 24 期第 3 回材料工学委員会議事録

資料 2－1. 委員会および関連分科会の活動報告書

資料 2－2. 各分科会議事録（材料工学ロードマップのローリング分科会，バイオマテリアル分科会，SDGs のための資源・材料の循環使用検討分科会）

資料 3. 報告「第 23 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」

資料 4. 報告「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 材料工学分野」